

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	森林管理促進事業			事業番号	23-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	石田康弘	農業振興課農林整備担当	佐野直希	

計 画 (Plan)						
総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち		
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり		
		施策展開の方向	10	地域の産業が盛んなまちをつくる		
		施策	23	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進		
予算事業名	林業基盤整備事業費 森林管理事業費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある		
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—	
関連法令等	森林法、県補助金交付要綱(水源の森林づくり協力協約事業、水源環境保全・再生市町村補助金事業)					
国・県の計画等	かながわ森林再生50年構想、神奈川県森林計画		計画期間	平成23年度～		
関連個別計画	伊勢原市森林整備計画、第3期水源環境保全・再生市町村5か年計画		計画期間	平成23年度～		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	水源の森林エリア内の高齢級の間伐、枝打ちなど、森林の適正な整備及び保全を行っていかなかで、施業着手が困難な状況にある森林が散見されるため、施業に必要な作業路網の整備を推進していく必要があります。また、市内では野生動物が頻発に出没し集落に悪影響を与えているため、水源涵養機能の向上とともに野生動物の出没を抑制する狙いから、集落周辺の荒廃した森林を整備する必要があります。					
目的 (何をどうしたいのか)	森林の荒廃を防ぎ森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、作業路の整備など、継続的な森林整備を進めます。					
主な対象 (誰・何を対象に)	民有林					
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業路網の整備を行います。</li> <li>協約締結地の森林整備(間伐・枝打)を行います。</li> <li>集落周辺(大山地区・比々多地区)の森林整備(間伐・枝打・除伐等)を行います。</li> </ul>					
事業行程	項目	年度				
		令和3年度	令和4年度			
	作業路の整備	工事	工事			
	協約締結地の森林整備	間伐・枝打	間伐・枝打			
集落周辺の森林整備	間伐・枝打・除伐・つる切り	間伐・枝打・除伐・つる切り				
目 標	【指標名】	【現状値】	年度			
			令和3年度	令和4年度		
	作業路の整備延長	L=980m (令和2年度)	L=700m	L=550m		



事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、引き続き森林組合と事業執行の調整を図り、作業路の整備、森林の整備を計画的に進めます。		
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>
	作業路の整備	工事	
	協約締結地の森林整備	間伐・枝打	
	集落周辺の森林整備	間伐・枝打・除伐・丸太筋工	
<b>実施した取組の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業路L=770mの整備を実施しました。</li> <li>・協約締結地A=15.49haの森林整備を実施しました。</li> <li>・集落周辺A=5.52haの森林整備を実施しました。</li> </ul>		
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状値】</b>	<b>年度</b>
			<b>令和3年度</b> <b>令和4年度</b>
	作業路の整備延長	L=980m (令和2年度)	L=770m

<b>コスト</b>	<b>年度</b>		<b>令和3年度 実績</b>				<b>令和4年度 実績</b>				
	<b>事業費合計 (a)</b>		19,160	千円							千円
	<b>内訳</b>	<b>国県支出金 ①</b>	15,705	千円							千円
		<b>地方債 ②</b>	0	千円							千円
		<b>その他特財 ③</b>	0	千円							千円
		<b>一般財源 (a)-①-②-③</b>	3,455	千円							0 千円
	<b>国県支出金の内容</b>		神奈川県協力協約推進事業補助金 補助率90% (作業路) 補助率80% (森林整備) 神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金 補助率100%								
	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		<b>前回の改定時期</b>						
		<b>その他</b>									
	<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>	0.37	人	3,027	千円		人			千円
		<b>その他の職員</b>	0.37	人	1,125	千円		人			千円
		<b>人件費合計 (b)</b>	0.74	人	4,152	千円		人			千円
	<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				23,312	千円					0 千円
	<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	<b>定義</b>	市民		<b>単位</b>					
			<b>対象数</b>		101,381	人					
<b>総事業費 / 対象数</b>			230	円							

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	・作業路の整備計画延長L=700mに対し、L=770mの整備を行いました。また、作業路を活用した協力協約締結地の森林整備や、集落周辺の森林整備を効率的に行うことができました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	・神奈川県の標準単価を使用していることから、他市と同水準での事業実施が行えています。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	作業路の整備により、林業機械の導入が可能となり、林業作業の効率化、生産性の向上につながる等、有効な森林整備を行うことができました。また、集落周辺の森林整備を行ったことで、有害鳥獣の出没抑制の効果が期待されます。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	・森林施業に従事している森林組合に本事業を委託することで、効率的に実施することができました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	・森林において、事業を実施するためには地権者の同意が必要不可欠となります。整備箇所によっては地権者数が多数となることから、同意を得る作業に時間を要します。
令和4年度 of 取組方針		・森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、引き続き森林組合と事業執行の調整を図り、作業路の整備、森林の整備を計画的に進めます。		
所管部長による総評		森林の持つ多面的機能(土砂災害の防止・水源涵養など)を発揮させるためには、適切な森林施業を継続的に実施する必要があります。このため、作業路の整備や森林整備は必須であり、今後も計画的に推進していく必要があります。		